

# 一般細菌検査

## 一般細菌【検査項目】

緊急報告範囲（2ページ）に該当した場合は、弊社より緊急報告させていただきます。  
培養同定の検査は、目的菌により所要日数が変わる場合があります。

部位	項目コード	検査項目	検査材料	容器	保存	検査方法	所要 日数	実施料	備考
口腔、 気道または呼吸器	5265	塗抹鏡検	喀痰 咽頭・鼻腔 口腔の 分泌物			グラム染色*	2~4	61	
	5208	培養同定				培養同定	3~6	160	
	5277	嫌気性培養				嫌気培養同定	4~15	115	注2 培養同定も同時に依頼ください。
	5282	感受性MIC (標準)				微量液体希釈法 ディスク拡散法	3~6	注1	7ページの薬剤セットで実施いたします。
	5287	感受性BP (標準)							8ページの薬剤セットで実施いたします。
		感受性オプション (病院セット)							貴施設の薬剤セットで実施いたします。 ※ご依頼時には必ず、薬剤セットコードをご指定ください。
消化器	5266	塗抹鏡検	糞便 胆汁 胃液			グラム染色*	2~4	61	便での塗抹鏡検は実施しておりません。
	5210	培養同定				培養同定	3~6	180	
	5278	嫌気性培養				嫌気培養同定	4~15	115	注2 培養同定も同時に依頼ください。
	5283	感受性MIC (標準)				微量液体希釈法 ディスク拡散法	3~6	注1	7ページの薬剤セットで実施いたします。
	5288	感受性BP (標準)							8ページの薬剤セットで実施いたします。
		感受性オプション (病院セット)							貴施設の薬剤セットで実施いたします。 ※ご依頼時には必ず、薬剤セットコードをご指定ください。
泌尿器または生殖器	5267	塗抹鏡検	尿 尿道・子宮 膣分泌物 精液			グラム染色*	2~4	61	
	5202	簡易培養 (尿定量)				標準白金耳法	3~5	60	尿以外の材料では実施しておりません。 (単位：CFU/mL)
	5212	培養同定				培養同定	3~6	170	目的菌が淋菌の場合は室温保存してください。
	5279	嫌気性培養				嫌気培養同定	4~15	115	注2 培養同定も同時に依頼ください。
	5284	感受性MIC (標準)				微量液体希釈法 ディスク拡散法	3~6	注1	7ページの薬剤セットで実施いたします。
	5289	感受性BP (標準)							8ページの薬剤セットで実施いたします。
	感受性オプション (病院セット)	貴施設の薬剤セットで実施いたします。 ※ご依頼時には必ず、薬剤セットコードをご指定ください。							
血液または穿刺液	5268	塗抹鏡検	胸水 関節液 腹水 穿刺液 血液 髄液			グラム染色*	2~4	61	髄液または目的菌が髄膜炎菌の場合は室温保存してください。 血液はカルチャーボトルに入れ室温保存してください。
	5213	培養同定				培養同定	3~10	210	
	5280	嫌気性培養				嫌気培養同定	4~15	115	注2 培養同定も同時に依頼ください。
	5285	感受性MIC (標準)				微量液体希釈法 ディスク拡散法	3~10	注1	7ページの薬剤セットで実施いたします。
	5290	感受性BP (標準)							8ページの薬剤セットで実施いたします。
		感受性オプション (病院セット)							貴施設の薬剤セットで実施いたします。 ※ご依頼時には必ず、薬剤セットコードをご指定ください。
その他の部位	5269	塗抹鏡検	膿 眼分泌物 耳分泌物 皮膚・爪			グラム染色*	2~4	61	
	5250	KOH染色				KOH法	2~4	61	検査材料は皮膚や爪です。 白癬菌や糸状菌を疑う場合に依頼ください。
	5214	培養同定				培養同定	3~6	160	
	5281	嫌気性培養				嫌気培養同定	4~15	115	注2 培養同定も同時に依頼ください。
	5286	感受性MIC (標準)				微量液体希釈法 ディスク拡散法	3~6	注1	7ページの薬剤セットで実施いたします。
	5291	感受性BP (標準)							8ページの薬剤セットで実施いたします。
	感受性オプション (病院セット)	貴施設の薬剤セットで実施いたします。 ※ご依頼時には必ず、薬剤セットコードをご指定ください。							
5294	真菌感受性 (酵母)	上記材料すべて	微量液体希釈法	3~6	150	真菌感受性では依頼のある場合のみ実施いたします。 (カンジダ・クリプトコッカスが対象になります。)			

21・22ページ参照

\*グラム染色液は一部自家調整液を使用しております。

## 【ご依頼に際しての留意事項】

### 〔注1〕 〔薬剤感受性検査の算定について〕

1 菌種	170点
2 菌種	220点
3 菌種以上	280点

### 〔注2〕 〔嫌気性培養のご依頼について〕

- ① 嫌気性菌の検索を目的とする場合は、嫌気ポーターをご使用ください。
- ② 同一検体について培養同定と併せて嫌気性培養を行った場合、実施料を加算いたします。
- ③ 培養同定も同時にご依頼ください。

## 【薬剤感受性検査のご依頼について】

### ① 薬剤セット内容について

#### 1) 薬剤セット

弊社標準薬剤セットとしてMICセットとBPセットの2つをご用意しております。

また、貴施設でご使用の薬剤をご要望の場合は、専用の薬剤セットとして登録いたします。

ご依頼時に弊社標準MICセット、標準BPセット、または病院セットの3つの中からお選びください。

※感受性オプション（病院セット）のご依頼時は必ず薬剤セットコードをご指定ください。

MIC : Minimum Inhibitory Concentration（最小発育阻止濃度）

BP : Break Point（ブレイクポイント）

感受性MIC : MML標準〔MIC〕薬剤セット（7ページをご覧ください。）

検査法 : 微量液体希釈法

（菌種、菌の発育状況によりディスク拡散法で実施する場合があります。）

感受性BP : MML標準〔BP〕薬剤セット（8ページをご覧ください。）

検査法 : 微量液体希釈法、ディスク拡散法

感受性オプション : MMLオプション〔病院セット〕（9、18～20ページをご覧ください。）

検査法 : 微量液体希釈法、ディスク拡散法

**貴施設独自の薬剤セットで感受性検査を実施いたします。**

**複数登録が可能です。9ページをご利用ください。**

**ご要望の場合は、事前に登録が必要ですのでご相談ください。**

#### 2) 追加薬剤

ご依頼の薬剤セット（標準〔MIC〕,〔BP〕,〔病院セット〕）にない薬剤は追加薬剤としてご依頼いただけます。18～20ページをご覧ください。

- ② 常在菌および非病原性と考えられる菌種の薬剤感受性検査は実施しておりません。
- ③ カンジダ、クリプトコッカス以外の酵母様真菌と糸状菌、白癬菌、アスペルギルスの真菌感受性検査は実施しておりません。
- ④ マイコプラズマ、ウレアプラズマの薬剤感受性検査は実施しておりません。
- ⑤ CLSI（Clinical and Laboratory Standards Institute）の基準に従いご報告いたします。
- ⑥ 生材料でのご依頼の場合は、培養同定も同時にご依頼ください。

# 一般細菌検査

## 【目的菌一覧】

目的菌のご要望がある場合は、必ず培養同定も同時に依頼の上、依頼書の目的菌チェック欄にご記入ください。

- ・目的菌のご依頼は1検体につき最大10項目までです。
- ・下記以外の目的菌についてはお問い合わせください。

項目コード	検査項目	所要日数	備考
M115	百日咳菌	8～12	
M139	下痢原性大腸菌（O-157含む）	3～5	実施料：180点 大腸菌血清型別は、細菌培養同定検査により大腸菌が確認された後、血清抗体法により大腸菌のO抗原または、H抗原の同定を行った場合に、使用した血清の数、菌種等に関わらず算定します。この場合において細菌培養同定検査の費用は別には算定できません。
M141	O-157大腸菌	3～5	
M201	淋菌	3～5	検体は室温保存してください。
M401	ジフテリア菌	8～12	
M503	クロストリジウム デフシール	6～8	嫌気性培養も同時にご依頼ください。糞便材料の嫌気性培養では、目的菌の有無に関わらず検査を実施しております。
M516	クロストリジウム パーフリンゲンス	3～5	嫌気性培養も同時にご依頼ください。
M601	真菌	8～14	
M603	クリプトコッカス	8～12	
M604	アスペルギルス	8～14	
M605	白癬菌	4週～5週	
M609	糸状菌	4週～5週	
M902	レジオネラ	8～10	
M105	赤痢菌	3～5	糞便材料の場合は、目的菌の有無に関わらず検査を実施しております。
M106	サルモネラ菌	3～5	
M108	エルシニア菌	3～5	
M110	腸炎ビブリオ	3～5	
M111	コレラ菌	3～5	
M509	カンピロバクター	3～5	
M202	髄膜炎菌	3～5	検体は室温保存してください。
M304	肺炎球菌	3～5	
M117	ヘモフィルス	3～5	
M114	緑膿菌	3～5	
M302	黄色ブドウ球菌	3～5	
M303	M R S A	3～5	
M311	A群溶連菌	3～5	
M313	B群溶連菌（GBS）	3～5	
M602	カンジダ	3～5	

目的菌にチェックがないと検出できない菌です。必要な際には必ずご指定ください。

### 一般細菌検査【判定基準】

下記項目の検査結果は、次の弊社基準に基づき報告書へ表示しております。

項目名	区分及び鏡検倍率	表示方法	細菌数/細胞数	備考
塗抹鏡検	細菌数 鏡検倍率：1,000倍	(-)	菌がみられない	
		1+	1視野に1個未満	
		2+	1視野に1～5個	
		3+	1視野に6～30個	
		4+	1視野に30個超	
	細胞数 (白血球・上皮細胞) 鏡検倍率：100倍	(-)	細胞がみられない	
		1+	1視野に1個未満	
		2+	数視野に1～9個	
		3+	1視野に10～25個	
		4+	1視野に25個超	

Clinical Microbiology Procedures Handbook 4th Edition

項目名	表示方法	培地発育状況	備考
培養同定	(-)	菌の発育が認められない場合	菌種名は、細菌命名に関する国際規約に基づきご報告させていただきます。
	1+	培地の1/3未満に菌が認められた場合	
	2+	培地の1/3以上2/3未満に菌が認められた場合	
	3+	培地の2/3以上に菌が認められた場合	
	4+	培地の全面に菌が認められた場合	

項目名	表示方法	内容	備考
薬剤感受性	S	感性 (Susceptible)	CLSIの基準に基づき表示します。MIC値またはBP値も併せてご報告させていただきます。
	I	中間 (Intermediate)	
	R	耐性 (Resistant)	

(CLSI：Clinical and Laboratory Standards Institute)

MIC：Minimum Inhibitory Concentration 最小発育阻止濃度 BP：Break Point ブレイクポイント

### 【主な材料の釣菌基準】

一般細菌培養同定における釣菌工程は、次の弊社基準に基づき実施しております。

菌名	喀痰・咽頭	尿	膿分泌物	血液・髄液
黄色ブドウ球菌	○	○	○	◎
コアグラゼ陰性ブドウ球菌	◆注1	○	○	◎
β溶血性連鎖球菌	◎	○	◎	◎
肺炎球菌	◎	○	○	◎
腸球菌	◆注2	○	○	◎
腸内細菌	◆注3	○	○	◎
緑膿菌	○	○	○	◎
ブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌	◆注1	○	○	◎
ヘモフィルス	◆注2	—	○	◎
ブランハメラ	◆注2	—	—	◎

【記号表示内容】

- ◎：1コロニーでも釣菌します。
- ：少数以上検出されたとき釣菌します。
- ◆：1+以上検出されたとき釣菌します。
- ：対象外

- 注1：優位な発育でなければ釣菌しません。
- 注2：少数でも優位な発育ならば釣菌します。
- 注3：少数でも肺炎桿菌ならば釣菌します。

※ 目的菌のご依頼がある場合は、1コロニーでも釣菌します。

### 【便の釣菌基準】

材料が便の場合、次の弊社基準に基づき釣菌いたします。

区分	釣菌対象菌	備考
通常釣菌	サルモネラ・赤痢菌・コレラ菌・カンピロバクター・ビブリオ・エルシニア・エロモナス・プレジオモナス・黄色ブドウ球菌・セレウス	目的菌のご依頼がなくても釣菌します。
優位発育時釣菌	クレブシエラ オキシトカ・緑膿菌	優位に発育した場合にのみ釣菌します。
依頼時釣菌	下痢原性大腸菌	培養同定と目的菌をご依頼いただいた場合のみ釣菌します。
	クロストリジウム デフシール	培養同定と嫌気性培養をご依頼いただいた場合のみ釣菌します。
	クロストリジウム パーフリンゲンス	培養同定と嫌気性培養、目的菌をご依頼いただいた場合のみ釣菌します。

# 一般細菌検査

## 一般細菌薬剤感受性 MML標準〔MIC〕薬剤セット

		ブドウ球菌	グラム陽性桿菌	フランハメラ	肺炎球菌	連鎖球菌	腸球菌	ヘモフィルス	グラム陰性桿菌	緑膿菌	カンピロバクター	ビブリオ	嫌気性菌	淋菌	真菌(酵母)
ペニシリン系	PCG	●	●		●	●	●						●	◎	
	MPIPC	●													
	ABPC	●	●	●	●	●	●	●	●		◎	●	●		
	PIPC								●	●		●	●		
セフェム系	CEZ	●	●						●			●			
	CTM	●	●	●	●	●		●	●			●			
	CTX			●	●	●		●	●			●			
	CAZ								●	●		●			
	CTRX			●	●	●		●	●			●		◎	
	CZOP				●	●				●			●		
	CMZ								●			●	●	◎	
	CCL								●			●			
	CFIX													◎	
	CFPM			●	●	●		●	●	●		●			
	CDTR-PI			●	●	●		●							
	LMOX												●		
	FMOX	●	●						●			●	●		
	カルバペネム系	IPM/CS	●	●				●	●	●	●	◎	●	●	
MEPM				●	●	●		●	●	●		●			
DRPM										●					
モノバクタム系	AZT							●	●		●				
β-ラクタマーゼ阻害剤	SBT/ABPC	●	●				●	●	●			●	●		
	SBT/CPZ							●	●			●	●		
	CVA/AMPC			●	●	●		●							
	TAZ/PIPC									●					
アミノグリコシド系	GM	●	●					●	●	◎	●				
	TOB								●						
	AMK							●	●		●				
	ABK	●													
	SPCM													◎	
マクロライド系	EM	●	●		●	●	●								
	CAM			●				●			◎				
	AZM				●	●									
クリンダマイシン系	CLDM	●	●		●	●						●			
テトラサイクリン系	TC							●							
	MINO	●	●		●	●	●	●	●	●	◎	●	●	◎	
クロラムフェニコール系	CP				●	●		●			◎		●		
グリコペプチド系	VCM	●	●		●		●						●		
	TEIC	●					●								
ニューキノロン系	TFLX												●		
	CPFX							●		●				◎	
	LVFX	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	●		◎	
その他	FOM	●	●					●	●	◎	◎	●			
	ST	●						●	●			●			
	LZD	●					●								
	CL									●					
抗真菌剤	AMPH														●
	MCZ														●
	5-FC														●
	FLCZ														●
	ITCZ														●
	MCFG														●
	VRCZ														●
CPFG														●	

◎：ディスク拡散法を用いて検査いたします。  
真菌感受性は8薬剤固定となります。

一般細菌薬剤感受性 MML標準〔BP〕薬剤セット

		ブドウ球菌	グラム陽性桿菌	ブランハメラ	肺炎球菌	連鎖球菌	腸球菌	ヘモフィルス	グラム陰性桿菌	緑膿菌	カンピロバクター	ビブリオ	嫌気性菌	淋菌	真菌(酵母)
ペニシリン系	PCG	●	●		●	●	●						●	◎	
	MPIPC	●													
	ABPC	●	●	●	●	●	●	●	●		◎	●	●	◎	
	PIPC							●	●	●		●	●		
セフェム系	CEZ	●	●		●	●			●			●			
	CTM	●	●	●	●	●		●	●			●			
	CTX			●	●	●		●						◎	
	CAZ								●	●		●		◎	
	CTRX			●	●	●		●						◎	
	CZOP	●								●			●		
	CMZ								●			●	●	◎	
	CCL			●	●	●		●	●			●			
	CFDN		●		●	●									
	CFIX							●							◎
	CFPM	●			●	●			●	●		●			
	CDTR-PI	●		●	●	●		●							
	LMOX									●			●		
	FMOX	●	●						●			●	●		
カルバペネム系	IPM/CS	●	●		●	●	●	●	●	●	◎	●	●		
	MEPM				●	●		●	●	●		●		◎	
モノバクタム系	AZT							●	●	●		●			
β-ラクタマーゼ阻害剤	SBT/ABPC	●					●						●	◎	
	SBT/CPZ							●	●			●	●		
	CVA/AMPC		●	●	●	●		●	●			●			
アミノグリコシド系	GM	●	●					●	●	◎	●				
	TOB								●						
	AMK	●						●	●		●				
	ABK	●													
	SPCM													◎	
マクロライド系	EM	●	●		●	●	●								
	CAM	●		●				●			◎				
	AZM				●	●		●						◎	
クリンダマイシン系	CLDM	●	●		●	●						●			
テトラサイクリン系	MINO	●	●		●	●	●	●	●	◎	●	●	◎		
クロラムフェニコール系	CP				●	●		●		◎		●	◎		
グリコペプチド系	VCM	●	●		●	●	●						●		
	TEIC	●					●								
ニューキノロン系	TFLX												●		
	CPFX							●	●	●		●		◎	
	LVFX	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	◎	●		◎	
その他	FOM	●					●	●		◎	◎	●			
	ST	●	●		●	●		●	●	●		●		◎	
	LZD	●	●				●								
抗真菌剤	AMPH														●
	MCZ														●
	5-FC														●
	FLCZ														●
	ITCZ														●
	MCFG														●
	VRCZ														●
CPFG														●	

◎：ディスク拡散法を用いて検査いたします。  
真菌感受性は8薬剤固定となります。

# 一般細菌検査

## 一般細菌薬剤感受性 MML オプション〔病院セット〕 薬剤記入表

(施設名： \_\_\_\_\_ )

菌名 薬剤名	ブドウ球菌	グラム陽性桿菌	ブランハメラ	肺炎球菌	連鎖球菌	腸球菌	ヘモフィルス	グラム陰性桿菌	緑膿菌	カンピロバクター	ビブリオ	嫌気性菌	淋菌	真菌 (酵母)
	感受性指定制薬剤													
AMPH														●
5-FC														●
FLCZ														●
ITCZ														●
MCZ														●
MCFG														●
VRCZ														●
CPFG														●

感受性検査を実施する薬剤名をご記入の上、菌名毎に●をご記入ください。  
真菌感受性は8薬剤固定となります。